

受領No. 1687

テレワーク時代における男性の育児休業と夫婦のキャリア平等

代表研究者 尾野 裕美（筑波大学 准教授）

Male Parental Leave and Couples' Career Equality in the Era of Telework

Representative Hiromi Ono (Associate Professor, University of Tsukuba)



研究概要

男性の育児休業（以下、育休とする）は取得率こそ過去最高に達したものの、その取得期間の男女差は依然として大きく、妻のキャリアへの実質的な効果は不明である。本研究は、テレワークの定着という働き方の変化を踏まえ、男性の育休経験が家庭内役割分担をどのように変え、それが共働き女性のキャリア自律や昇進意欲にどのように影響するのかという心理学的メカニズムを解明することを目的とする。従来の研究では育休中の生活実態が多様である点が十分に扱われてこなかったことから、本研究ではICTが家庭と職場の境界を再編するという視点を組み込み、育休とテレワークの相互作用に注目する。まずインタビュー調査により、テレワークが夫の育休や家庭内役割分担にどのように影響したのか、また、それが妻のキャリアにどのように影響したのかを探索的に検討する。次にアンケート調査により、テレワークが夫の育休や妻のキャリア自律および昇進意欲に及ぼす影響について検証する。本研究を通して、テレワーク時代における男性の育休に関するベスト・プラクティス・モデルを提示し、政策や企業施策の改善と夫婦のキャリア平等の実現を目指す。